



12月は 師走

語源については、この月になると、家々で師（僧）を迎えて読経などの仏事を行うため、師が東西に忙しく走り回るため、「師馳（しは）せ月」といったのを誤ったものとか、諸説ありますが、このことばのもつ語感が、年の暮れの人事往来の慌ただしさと一致するためか、陽暦12月の異称としても親しまれ、習慣的に用いられています。

学習発表会より 11月28日（土）

11月5日の小中一貫教育研究会を終えて、3週間の期間で学習発表会を目指して、先生と児童精一杯がんばってきました。たくさんの人の前で、語ったり、歌ったり、演技をしたりすることは、今の教育だけでなく将来へ向けて社会性をつける大切な学習です。また、学校だからこそできる重要な教育活動です。子どもたちもやり終えた・やりきったという成就感が成長の節目となり、これからの教育への大きな糧となることを期待します。たくさんの来賓・保護者・地域の皆様のご参加・ご応援ありがとうございました。



学校関係者評価委員会 11月18日

学校評議員の濱田さん、米今さん、PTA代表の森川さんと5名の教職員で、第2回の学校関係者評価委員会を開きました。これまでの学校の様子を資料を基に説明させていただき、3名の評価委員さんよりご意見や感想をいただきました。貴重なご意見をよりよき学校を目指して今後の学校教育に生かしていきます。「学校関係者評価委員会」の報告は、本校ホームページ上に掲載いたします。



小中一貫教育研究会 参加・協力ありがとうございました 11月5日
午前中に小中学校の授業を公開し、6年生から中学2年生までの下蒲刈太鼓（海神）と3年生から中学校3年までの合唱（ぼくの下蒲刈）を発表しました。市内はもちろん、遠くは千葉県より本研究会に参加していただき、多くの教職員、保護者、地域の皆様の協力で盛大に開催させていただきましたことができました。

授業では子どもたちは緊張することなく、真剣に授業に打ち込む姿や堂々と発表することができました。2人でのペアトークやグループ協議でも一生懸命に学びあう姿を見ることができました。講師でお世話になった松浦武人先生からも意欲的に頑張っている子どもたちを称賛されていました。児童生徒発表では、発表に向けて校内や中学校で練習を積み重ねた成果を堂々と披露することができました。本番が最高の発表であったといえます。

呉市より2年間の指定を受けた小中一貫教育の1年目の発表であり、半年間という短い研究の成果を問われる研究会でしたが、何より研究会で子どもたちが自分たちで学んできたことを意欲的に発表できたことが大きな成果でありました。本年度、広島県は「学びの変革アクションプラン」の中で「子どもたちの主体的な学び」の必要性を強く打ち出しています。自ら学ぶこと、主体的な学びがいかに大切かということです。本校は、研究会の実践を通して、少しでも「自分から学習する」学びの姿勢を体験できたといえます。研究会を終えてからも市内の多くの先生方から温かい言葉をいただき教職員・児童共に今後の教育活動への自信となりました。低い山に登るより高い山に登った後の景色が爽快であるように常に次なる目標を掲げていきます。今日で終わりではなく、研究2年目へ向かってのスタートが始まりました。

研究会へ保護者・地域の皆様の多大なる協力いただきましたことに心よりお礼申し上げます。



よくがんばった陸上記録会 11月7日（土）

昨年度は雨で中止のため、6年生は初めての陸上記録会になりましたが、2名入賞（6位以内）という素晴らしい結果になりました。

研究会の直後の日程であったため、十分な練習ができませんでしたが、全員競技には全力で参加して練習以上の記録を残すことができました。

5年生は今年の経験を来年に生かしてもらいたいです。

<陸上記録会 入賞>

- 走り幅跳び 第2位
6年 菅原 優斗 君
記録 3m88cm
- 走り高跳び 第6位
6年 實谷 大周 君
記録 1m20cm



学校視察 11月16日（月）

山口県の柳井市より小中学校2名の先生が学校視察に来られました。5年生の算数の乗り入れ授業を参観され、本中学校区での取組の説明を聞かれました。授業を見られて「学習のルールや学習規律、授業の進め方など学ぶことが多くありました」と喜んでいただきました。



12月の主な行事予定

- 1日（火） 交通安全指導
- 2日（水） 出前授業（3～5年）
- 3日（木） ふるさと探訪事業（6年）
能楽鑑賞（3年～5年）中学校
- 4日（金） 食育指導（3・4年）
- 9日（水） 薬物乱用防止教室（5・6年）
- 11日（金） 呉市子ども交通安全推進隊
- 21日（月） 個人面談 学級会計監査
- 22日（火） 終業式 給食終了

